

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL. 26-3600 FAX. 24-1474



「不老橋」

目 次

ごあいさつ……………2	苦手という存在を考える……………5
第17回定期総会 盛大に開催……………3	近畿税理士会和歌山支部新執行部……………6
着任あいさつ……………4	新入会員等ご紹介……………8
和歌山税務署新任幹部ご紹介……………4	編集後記……………8



ごあいさつ

和歌山支部長

岡田 泰 介

暑さ厳しい折、会員先生方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は会務運営につきまして、深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、最近の景気の動向は、消費税率引き上げの逆風を受けながらも、緩やかな回復が続けているが、一部中小企業の構造的な不況業種が残るほか、特別減税の廃止など新たな負担増が待ち受ける一方、円安効果が企業利益を改善し、低金利に支えられた設備投資計画を発表している業種がみられるなど、業種間格差が益々拡大しそうな状況であると日経新聞は報道していますが、我々税理士が得意先とする中小企業は、構造的な不況に加え親会社の生産拠点の海外移転に伴う下請脱落や、外国企業の安価な製品との価格競争などまだまだ逆風が吹いているのが現状です。このような状況の中、我々税理士が指導力を発揮し、関与先より信頼されるためには、会員の品位・資質の向上を期すと共に、対外活動を積極的に展開して、税理士制度および業務の社会的認識を高め、職域の確保拡充を図ることが大切であろうかと考えます。そこで

本年度は各種研修会を増やしていきたいと考えています。また我々税理士も、関与先と税務官署との間を単に往復するだけでなく、日本版ビックバン（金融制度改革）に向けて資金の海外取引等にも、重大な関心を持たなければならない時がきていると考えています。これが就任後一ヶ月の新米支部長が支部長会（6・11）、近税会総会（6・20）、和歌山県支部連合会（6・23）に出席いたしまして感じたところでございます。

今後二年間各種関連諸団体に対し積極的に働きかけ、職域の確保拡充に向けて努力いたしたいと考えています。どうかご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、会員先生方の益々のご健勝とご事業の発展を心からお祈り申し上げます。



第17回 定期総会 盛大に開催



第17回和歌山支部定期総会が去る5月16日、会員183名（うち委任状52名）の出席を得て、紀の国会館において開催されました。

まず、物故会員 岡平蔵、坂本武男、湯川佳美、湯川定助諸先生方への黙禱が行われ、川邑支部長の挨拶に続き、新入会員の紹介と退会会員の報告が行われました。

引続き、議長に川端邦彦会員を、議事録署名人に辻 勝、南方孝一会員を選出し、議事に入りましたが、第1号議案の平成8年度事業報告及び決算書承認並びに税務指導所決算書報告の件、第2号議案の平成9年度事業計画案及び収支予算案承認の件を審議、ほぼ満場一致で承認可決し、第3号議案の支部役員選任の件につきましては、無記名投票により選任

された11名の選考委員による協議の結果、以下のとおり正副支部長が選任されました。

(支部長)	岡田 泰 介
(副支部長)	神下 邦 義
	高橋 五 一
	山下 勤
	下林 善 信
	溝上 裕 章

なお、幹事、監事は後日、正副支部長によって選任される旨について議場に語ったところ、異議なく満場一致で承認され、全議案がきわめてスムーズに可決されました。

その後引続き、本会副会長の中北典夫会員により、森金次郎近畿税理士会会長の祝辞の御披露があり、盛会のうちに第17回定期総会は無事終了いたしました。



着任あいさつ

和歌山税務署 副署長

いわ さき まさ むね
岩 寄 理 致

近畿税理士会和歌山支部並びに会員の皆様方には、平素から税務行政に対しまして、深いご理解と格別のご協力を賜っておりますこと心より厚くお礼申し上げます。

この度の異動で和歌山税務署 副署長（個人資産担当）を拝命いたしました岩

寄でございます。

当署での勤務は、7年振りで3回目となりますが、今年は申告納税制度が導入されて50年という節目の年に当たるわけであり、このような年に歴史と伝統に培われた当署に勤務できましたことを大変光栄に思っているところであります。

私の好きな言葉に、「きょしんたんかい虚心坦懐」があります。皆様方からの貴重なご意見を拝聴し、仕事に生かしていきたいと考えております。

何卒よろしくお願い申し上げまして、着任に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

和歌山税務署新任幹部ご紹介

(敬称略)

職 名	氏 名	前 任
副 署 長(個人・資産担当)	岩 寄 理 致	局・総務部会計課長補佐
特別国税調査官(法人税担当)	藤 原 正 光	岸和田・総務課長
総 務 課 長	宮 下 良 一	局・調査第一部調査第一部門統括主査
特 別 国 税 徴 収 官	上 川 広 志	堺・徴収第一部門統括官
管理徴収第二部門統括官	下 田 代 勉	東大阪・個人課税第四部門統括官
個人課税第三部門統括官	川 口 時 夫	西成・個人課税第二部門統括官
特別国税調査官(資産税担当)	山 崎 政 一	豊能・特別国税調査官(資産税担当)
資産課税第一部門統括官	栗 谷 岩 夫	南・資産課税部門統括官
資産課税第二部門統括官	鈴 木 孝 雄	堺・法人課税第八部門統括官
特別国税調査官(法人税担当)	吉 木 浩	生野・特別国税調査官(法人税担当)
法人課税第一部門統括官	森 正 信	東成・法人課税第一部門統括官
法人課税第二部門統括官	井 筒 主 税	局・総務課調査係長
法人課税第四部門統括官	川 口 明	西・法人課税第四部門統括官
法人課税第六部門統括官	浜 田 明 久	和歌山法人課税第四部門統括官
法人課税第七部門統括官	岡 所 伸 一	局・課税第二部法人税課総務係長

にが て
「苦手という存在を考える」

税理士 福井 眞 八

長い人生にどんなに努力しても頑張り甲斐の無い苦手という者が存在している。

どうしても勝てない又は優位に立てぬ相手がある。私は小、中の学校11年間で只の1回も優位に立てる事なしに、旧制商業学校卒業の際、苦手の彼は優等賞他多くの賞状で持ち切れない。私は卒業証書1枚きり。その上（官立）国立高等商業へストレート合格。私は苦勞の末やっと私立高商へ。別れる際に歴然としている通り秀才、凡人との差をもって学校生活を送って来た。別れてから相変わらず私はローカル線を辿って来たが、終戦後は世の中が変動して、私にも運が向いて来たのか、激しい試験に都合よく合格。私を超越せない連中が「貴方は若い時から勉強家だった」と言われるのだから、苦手と張合う努力が相当遅くなって効果が出て来たのだ。そう考えると無駄では無かったと凡人の努力が役立つ事もある。世の中は捨てたものではないと思う。

先般死亡された勝新太郎が生前中テレビ放映、又映画の本で読んだ事があった。大映に入社した際、偶然市川雷蔵と同期だった。当初「花の白虎隊」で2人初出演の時は、いづれも差は無かったが、雷蔵は歌舞伎役者からの美男士、長谷川一夫の後継者として申分なく、時代劇で武将、武士、浪人、やくざ渡世人、町人と何でも格調あり、現代ものも「炎上」と

いう金閣寺を焼失させた坊主役で社会性のある暗い役柄、「陸軍中野学校」や海軍将校上りの「若親分」と何をやっても大当りで、興業成績良好。そこへ同じ路線で行く勝は歩が悪かった。容貌からは勝目の無いのは仕方なく、白塗の美男士役は勝には不向きであった。いつの間にか報酬も雷蔵30万円なのに、勝3万円となっては「ゲンクソの悪い相手」で彼の憤懣は当然で、やり場の無い不満、自己嫌悪はよく分る気がする。

「不知火検校」此の映画を見て、勝自身、自分の胸中のすべてをぶつけた腹立たしさで、極悪非道悪の権化の検校役を熱演したのではなかろうか。不思議とその映画は大当たりだった。

変な具合から自信を得た勝は原作 子母沢寛の盲目で居合抜きの達人が目止った。瞬間の何分の一秒の早技で数名斬り倒して元の鞘へ刀を戻す。この見せ場を会得するために彼は命がけで、長期にかけて修行したらしい。「座頭市」で彼が不動の地位を獲得するには、彼の負けたくない根性で市川雷蔵と異った方向から苦手を克服して大映の二本柱として自分を発展させたものである。

「悪名」の八尾浅吉親分、「今東光」原作の軽妙な筋書に、田宮二郎の「モートルの貞」というガサツで柄が悪い、トボケタ、そのくせユーモアのある引き立

て役に、田宮が今迄のエリート役から転じて、口の重い勝、軽薄でベラベラ喋る田宮、この奇妙な取り合わせが理屈なしで面白く、長い間シリーズで続いたが、これも勝が新境地を開いたものと思う。

更に有馬頼義作「兵隊やくざ」の大宮貴三郎一等兵、これも勝は柄の悪い古参兵隊、その指導役割をする一見温和そうに見える黒い細めがねの田村高広上等兵。これも上官に逆らっては行動を共に危いところをすり抜けてうまく助かる。「座頭市」「悪名」に較べると少し低調であったが、大映のドル箱シリーズで勝の面目躍如としたものであった。

苦手をどうにも勝てぬものと諦めて視線を合わさぬ様に避けているか、又は手の届かぬところへ自分が移転するのが、

普通の人生である。勝新太郎は、それを見返すべく負けじ根性を発揮。命がけて対等に自分を向上させたところに偉大さがあったと思う。

私も苦手の彼と分離してからは、人生の岐路という難関の試験に遭遇の時、彼であれば吃度合格するだろうと考え、負けじ根性を発揮して、再三通り抜け、合格し得た事があり現在に至っている。

今般、勝新太郎の死去に彼の業績、特に座頭市の存在が大きく、役者としての最高の栄誉を讃える声が大きかったが、彼を一層引き立たせた陰に市川雷蔵の存在があったからこそとも思う。

勝新の役者根性旺盛な人が消えてゆくのは寂しい限りである。

近畿税理士会和歌山支部 新執行部



支部長：岡田 泰 介



支部監事：岡田将生



支部監事：川端邦彦



総務委員会

木村 健而	神下 邦義 <small>(担当副支部長)</small>	山西 良子
----------	-------------------------------------	----------



業務委員会

後安 宏彦	金岡 憲治	北畑 米嗣	山下 勤 <small>(担当副支部長)</small>
----------	----------	----------	------------------------------------



厚生委員会

木村 雅彦	森脇 敏夫	大西 啓介	溝上 裕章 <small>(担当副支部長)</small>
----------	----------	----------	-------------------------------------



税務指導対策委員会

額田 幸至	石川 泰廣	下林 善信 <small>(担当副支部長)</small>	九鬼 克史	川口 昌紀
----------	----------	-------------------------------------	----------	----------



広報・網紀監察委員会

中井 典子	岡野 良平	山本 哲夫	高橋 五一 <small>(担当副支部長)</small>
----------	----------	----------	-------------------------------------



新入会員等ご紹介

会員数 平成9年8月1日現在229名

入 会



とね まさ ひろ
刀 祢 真 大
(事務所)
和歌山市寄合町44
宮本ビル2F

転 入



な くら けん ぞう
名 倉 健 三
御坊支部より
(事務所)
和歌山市東蔵前丁12
吉田ビル2F



の だ かおる
野 田 馨
(事務所)
和歌山市黒田87-7
風神正典事務所内



つじ やす お
辻 康 男
南支部より
(事務所)
和歌山市東高松4-1-23



さい どう けん いち
斉 藤 健 一
(事務所)
和歌山市芝ノ丁22
木下榮繁事務所内

退 会

- 岡 平 蔵 (死亡) 平成9年2月22日
- 坂 本 武 男 (死亡) 2月23日
- 湯 川 佳 美 (死亡) 3月12日
- 湯 川 定 助 (死亡) 4月20日

—— 謹んでお悔み申し上げます ——

編集後記

総会も無事終了し新役員が承認を得た
予算と事業計画に基づき、企画・計画を
練り着々と活動を進めています。

- ◆少年の異常犯罪、証券屋の一任勘定、
銀行の倒産（業務停止）、地方庁のカ
ラ出張、指名手配犯の時効寸前逮捕。
いずれも嘘は長く続かないようです。

- ◆広報委員は、幹事2名が留任で、更に
より良い（嘘のない）広報活動が出来る
よう、頑張りますことを申し上げ、
今後とも変わらぬご支援、ご教示をお
願い申し上げます。

厳しい暑さが続きますが、会員諸先
生にはご自愛の程をお祈り申し上げま
す。

広報委員 高橋、岡野、中井(典)